

令和4年度奈良まほろば館店内装飾・広報等業務について、公募型プロポーザル方式により委託業務の受託者を選定しますので、次のとおり公告します。

令和4年5月10日

奈良県奈良まほろば館長 古川 義富美

1 業務の概要

(1) 業務名

奈良まほろば館店内装飾・広報等業務

(2) 業務内容

令和3年8月の新橋への移転以降、メディアやSNSなどにより奈良まほろば館の認知度向上や誘客などに努めてきたところである。引き続き令和4年度についても、より多くの方々に奈良まほろば館を知っていただき、訪れていただくため、館内での季節感のある装飾や催事、当館の広報などを本業務により実施し、当館の認知度や誘客力の向上を図る。

詳細については、令和4年度奈良まほろば館店内装飾・広報等業務委託仕様書のとおりとする。

(3) 契約期間

契約締結日から令和5年3月24日（金）まで

(4) 委託上限額

7,000,000円（消費税及び地方消費税に相当する額を含む。）

2 参加資格

この委託業務における受託者募集に参加できる者は、業務の趣旨を十分に理解し、円滑に遂行できる単独事業者で、次に掲げる要件をすべて満たす者とします。

(1) 国または地方公共団体が発注した、本業務と同様の業務（装飾業務、催事業務及び広報業務）を過去5年間（平成29年度～令和3年度）に実施した実績（規模は問わない。各業務が別契約によるものでも可）を有する者であること。

(2) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4の規定に該当しない者であること。

(3) 国税及び地方税を滞納していない者であること。

(4) 奈良県の入札参加停止の措置期間中でない者であること。

(5) 民事再生法（平成11年法律第225号）の規定による再生手続開始の申立て、会社更生法（平成14年法律第154号）の規定による更生手続開始の申立て、又は破産法（平成16年法律第75号）の規定による破産手続開始の申立てが行われている者でないこと。

(6) 銀行の取引停止、又は差押えを受けていない者であること。

(7) 役員に法律行為を行う能力を有しない者、破産者で復権を得ない者及び禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった日から2年を経過しない者がいる法人でないこと。

(8) 役員等（法人にあっては非常勤を含む役員及び支配人並びに支店又は営業所の代表者、

その他の団体にあつては法人の役員と同等の責任を有する者、個人にあつてはその者及び支配人並びに支店又は営業所を代表する者をいう。以下同じ。)が暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。)第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。)でないこと。

- (9) 暴力団(暴対法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)又は暴力団員が経営に実質的に関与していないこと。
- (10) 役員等が、自社、自己若しくは第三者の不正な利益を図り、又は第三者に損害を加える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用していないこと。
- (11) 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなど直接的若しくは積極的に暴力団の維持、運営に協力し、又は関与していないこと。
- (12) 役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していないこと。

3 失格事項

応募者が次のいずれかに該当する場合は、失格とします。

- (1) 参加資格に定めた資格が備わっていないとき。
- (2) 複数の提案書等を提出したとき。
- (3) 提出のあった企画提案書等が様式及び記載上の注意事項に示された内容に適合せず、その補正に応じないとき。
- (4) 企画提案書などの提出書類に虚偽又は不正があったとき。
- (5) 企画提案書等受付期限までに所定の書類が整わなかったとき。
- (6) そのほか不正な行為があったとき。

4 手続き等

- (1) 担当部局(書類の提出先および問い合わせ先)

〒105-0004

東京都港区新橋1-8-4 SMBC新橋ビル2階

奈良県観光局奈良まほろば館 情報発信課

TEL: 03-5568-7081 FAX: 03-5568-7082

- (2) 募集要領及び仕様書の配布

公告日から令和4年6月2日(木)午後6時までの間に、(1)の担当部局または奈良県観光局奈良まほろば館情報発信課ホームページより入手するものとします。ただし、担当部局における配布は、午前10時30分から正午まで、午後1時から午後6時までとし、奈良県の休日を定める条例(平成元年3月31日奈良県条例第32号)第1条に規定する県の休日(以下「県の休日」という。)を除きます。

- (3) 質問の受付及び回答

提出方法 質問票(様式1)に質問事項を記載し、FAXで提出してください。必ず電話にて受信の確認を行ってください。

電話や来訪など口頭による質問は受け付けません。

受付期間 令和4年5月18日(水)の正午まで。

ただし、受信の確認は午前10時30分から正午まで、午後1時から午後6

時までとし、県の休日を除きます。

提出先 (1)の担当部局と同じ

回答 令和4年5月20日(金)までに、奈良県観光局奈良まほろば館情報発信ホームページにおいて公表します。個別には回答しません。

(4) 参加表明書の提出

提出期間 令和4年5月24日(火)の午後6時まで

ただし、受付は、午前10時30分から正午まで、午後1時から午後6時までとし、県の休日を除きます。

提出先 (1)の担当部局と同じ

提出物および提出部数 参加表明書(様式2-1) ……1部

事業者概要(様式2-2) ……1部

業務実績報告書(様式2-3) ……1部

提出方法 持参または郵送。(郵送の場合は簡易書留等の確実な方法によるものとし、提出期限必着とします。)

(5) 企画提案書の提出

提出期間 令和4年6月2日(木)の午後6時まで

ただし、受付は午前10時30分から正午まで、午後1時から午後6時までとし、県の休日を除きます。

提出先 (1)の担当部局と同じ

提出物および提出部数

企画提案書及び積算書(様式3) ……7部(正本1部、副本(写し)6部)

提出方法 持参または郵送。(郵送の場合は簡易書留等の確実な方法によるものとし、提出期限必着とします。)

企画提案書の作成上の留意事項

①右肩の(事業者名)以外に、提出者を特定することができる内容の記述(具体的な社名やロゴマーク等)を記載しないこと。記載がある場合はその項目を無効とします。

②企画提案書の作成に用いる言語は日本語、通貨は日本円、単位は日本の標準時及び計量法に拠るものとし、

③企画提案書の作成および提出に係る費用は、提出者の負担とします。

④提出された企画提案書は返却しません。また、企画提案書を無断で他に使用することはできません。

⑤企画提案書がこの書面及び別添の様式に示された条件に適合しない場合は、無効とします。

⑥企画提案書の提出を辞退する場合は、辞退届(任意様式)を提出してください。

(6) 契約候補者の選定

①企画提案書等の評価は、「令和4年度奈良まほろば館店内装飾・広報等業務受託者選定審査会」において、「令和4年度奈良まほろば館店内装飾・広報等業務委託 プロポーザル受託者選定評価基準」により審査し、最も高い評価を得た事業者を契約候補者として選定します。なお、審査は非公開とします。

②企画提案書等の審査については、プレゼンテーション及び質疑応答を行います。なお、

応募者多数の場合は、プレゼンテーション及び質疑応答に先立ち書類選考を行う場合があります。

- ③プレゼンテーション及び質疑応答の日時については、後日プレゼンテーション参加者に対して通知します。

5 その他

詳細は「令和4年度奈良まほろば館店内装飾・広報等業務募集要領」及び「令和4年度奈良まほろば館店内装飾・広報等業務委託仕様書」によります。